



ADRC Highlights

Vol.139

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

16 May 2006

➤ ADRC メンバー国共同プロジェクト 2005: 国際都市搜索救助トレーニング(シンガポール)

シンガポール市民防衛庁 (SCDF, Singapore Civil Defence Force) は、都市搜索救助における方策と技術を学ぶための研修コースを海外の専門家に提供しています。アジア防災センター (ADRC) では、SCDF の協力のもと、2001 年より毎年このコースにメンバー国の研修生を派遣しています。今年度は 2006 年 2 月 20 日～3 月 3 日に実施し、韓国、パキスタン、パプアニューギニア、ロシアから 4 名の研修生を派遣しました。

研修は、SCDF の組織内にある市民防衛学院 (CDA, Civil Defence Academy) で行われ、経験豊かな指導者のもと、アジア地域でトップレベルの研修施設を利用して行われました。



期間中は、都市搜索救助活動についての概念や方法に関して講義で学ぶだけでなく、それらを実習の中で応用して専門的スキルや技術を習得する訓練が行われました。実習では、実物の建物を利用して行われる臨時支柱作成訓練や建物崩壊の際の救助用トンネル掘削訓練などのほか、化学災害時の装備装着法、救命器 (酸素ボンベとマスク) を着用した閉所救出訓練などが行われました。

こうした大規模で本格的な訓練を受け、多くの実践的な技術への理解が深まった研修生からは、同研修に対して非常に高い評価が得られました。

近年発生したインド洋津波被害やパキスタン地震にも見られるように、様々な災害において、搜索救助技術の向上の必要性が求められています。ADRC では、こうしたニーズに応えながら、メンバー国向けに今後とも搜索救助の専門家育成をサポートしていきたいと考えております。

なお、この件につきましては、研究員の吉田 (yoshida@adrc.or.jp) までお願いします。

➤ ADRC 客員研究員レポート □ G. M. ジャナカ K. グナワルデナ(スリランカ)

2004 年 12 月 26 日は、スリランカの歴史で忘れられない日となりました。インドネシア・スマトラ島沖で発生した非常に強い地震により津波が発生し、スリランカ沿岸部に住んでいる多くの人々の命が失われ、生活や財産が甚大な被害を受けました。

スリランカは、インド亜大陸から約 36 キロメートルのところと位置する小さな島国です。熱帯性気候で、洪水、地すべり、干ばつ、サイクロンなどにたびたび見舞われま

す。しかし、近隣諸国に比べると、災害の規模は概して大きくなく、それが防災に対する無知や無関心につながっています。特に政府職員や一般住民の意識向上に関する十分な策がとられていません。

特に津波は、スリランカに稀な災害だったので、スリランカ国立防災センター所長補佐として私が思ったのは、政府職員や住民に十分な知識があれば、被害を半分以下に減らすことができたかもしれないということでした。

津波災害の後、スリランカ政府は、防災活動を強化する政策をとっています。2005 年 12 月 12 日に、スリランカ大統領は、防災を担当する 2 つの省を新設することを決定しました。これにより防災省と災害救援省が設けられ、さらに、同年 5 月 13 日には国会により、防災政策強化のための防災法第 13 法が制定されました。

ADRC の客員研究員招聘プログラムは、経験と知識を共有し、日本の防災専門家と意見交換できる貴重な機会を提供してくれます。このプログラムにより、私は被災地の視察、防災機関の訪問、また防災会議やセミナーへの参加を通じて、様々な知識や経験を得ています。

この研究員招聘プログラムが実り多きものとなるよう、研修期間中に得た知識やノウハウをスリランカの防災力向上に生かしていきたいと思っております。



➤ 第 3 回「国際防災復興協力シンポジウム」の開催

このたび、IRP (International Recovery Platform) は、発足一周年を記念して、これまでの活動成果を広く紹介するとともに、昨年 1 月の国連防災世界会議で採択され、今後 10 年間の国際防災活動の指針となる「兵庫行動枠組」の実現に向け、IRP が今後どのような活動を展開していくかについての方向性を示すことを目的として、下記のとおりシンポジウムを開催します。参加費は無料です。どなたでも参加できますので、参加ご希望の方は、氏名、職業、住所、TEL/FAX 番号を 2006 年 5 月 24 日 (水) までに irp-event@recoveryplatform.org までメールでお申し込みください。

- 日 時：2006 年 5 月 30 日 (火) 13:30～16:30
- 会 場：ラッセホール (神戸市中央区中山手通 4-10-8)
- テーマ：「IRP 発足 1 周年 ー兵庫行動枠組みの実現に向けてー」
- 詳細につきましては、IRP のホームページ (http://www.recoveryplatform.org/jp/pdf/3rd_sympo_jpn.pdf) をご覧ください。

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行： **アジア防災センター (Asian Disaster Reduction Center)**
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 ひと未来館 5F
E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)5540 FAX: 078(230)5546
誌代・送料： 無料 / 毎月 2 回発行 (予定)